

第49回千葉県経営者協会との定期懇談会を開催

2026年2月10日（火）15時30分より、京成ホテルミラマールにて「第49回千葉県経営者協会・連合千葉 定期懇談会」を開催しました。

春季生活闘争を控え、情報の共有化をはかるとともに、より良い労使関係に向けた取り組みとして、毎年実施しています。

千葉県経営者協会熊谷会長、連合千葉永富会長の挨拶の後、2026春季生活闘争に取り組むにあたっての方針や、労働相談の現状、2025年度労働法制関連についての活動報告を行いました。

意見交換では、連合千葉から

- ①2026 春季生活闘争の意義と基本スタンス、
- ②労働法制・働き方改革、
- ③企業年金の普及促進について課題提起し、意見交換をしました。

また、全体を通じた質疑では、経営者協会から

- ①中小企業に対する労働組合の普及活動、
 - ②スポットワークへの対応、
 - ③離職防止に向けた取り組みについて、
- 活発な意見交換が交わされました。



会場風景

2026次世代リーダー育成研修会【基礎講座】を開催



2026年4月18日（土）、千葉県教育会館新館501会議室にて、2026次世代リーダー育成研修会3講座の初回として、16名の受講生の参加で【基礎講座】を開催しました。

開講式では永富会長より、研修会に参加した次代を担うリーダーに対する感謝と期待の言葉が述べられました。

講義1では、労働組合の役割、連合の結成に至る経過とともに、連合の進路と役割、ビジョンについて連合千葉小谷顧問に講義をいただきました。

講義2では、j.union 株式会社の大川氏を講師に迎え、示された30のケースに対し、「リーダーとはどのような存在か」を、まずは個人ワークで判断した後にグループ内で共有しグループ見解をまとめる中で、リーダーシップを学びました。

受講生アンケートでは、「連合の成り立ちや労働組合の歴史を知ることが改めて重要だと感じた」「ディスカッションで有意義な意見を多く聞けて良かった」「多角的な視点で物事を考えられる機会は貴重だと感じた」といった意見をいただき、また、9割を超える受講生が「他の人に受講を勧めたい」と回答する初回講座となりました。



大川氏



小谷顧問

連合千葉2026春季生活闘争総決起集会およびデモ行進を実施

「働くことを軸とする安心社会の実現」に向けて、構成組織および地域協議会が一致団結して今次春季生活闘争に取り組むことを目的に、2月28日（土）千葉中央公園にて総決起集会を開催し、連合千葉の働く仲間約1,500人が結集しました。

集会では、中島事務局長が司会を務め、永富闘争委員長の主催者代表あいさつで始まり、連合千葉議員団会議天野会長、立憲民主党県連長浜代表、国民民主党県連小林副代表、千葉市神谷市長より連帯のあいさつを賜りました。



永富会長

その後、交通・運輸部会君塚さん、流通・サービス部会中澤さん、総武地域協議会佐藤議長から力強い決意表明をいただいたのち、最後に女性委員長谷部委員長の集会宣言（案）を参加者全員で確認し、決起集会を閉じました。

決起集会終了後は、闘争の意義や政策制度改善に向けた社会へのアピール行動として、デモ行進を中央公園からスタートし、およそ1.5キロのルートで4つの梯団に分かれ行進を行い、春季生活闘争と、労働組合の存在をアピールしました。



連合千葉 2026春季生活闘争・総決起集会 闘争宣言

2026 春季生活闘争は、「賃上げがあたりまえの社会」を実現する、正念場だ。“ノーモア・デフレマインド”。私たちは、すべての働く仲間の生活向上をめざし、結果にこだわり、格差は正にこだわる。

2年連続で5%台の賃上げを実現したものの、多くの働く仲間は、生活向上を実感できていない。誰もが豊かさを実感し、将来への希望と安心感を持てる社会を実現しなければならない。企業規模、雇用形態、性別、労働組合の有無にかかわらず、賃上げのすそ野を社会全体に広げ、日本全体の実質賃金を1%上昇軌道に乗せていこう。

生活の向上には、長時間労働の是正と生活時間の確保も重要である。長時間労働を前提とした働き方を見直し、安心してくらせる賃金の確保が不可欠だ。また、人手不足も深刻さを増している。人材の確保・定着をはかり、生産性を向上させるためには、持続的な「人への投資」が必要である。生活できる賃金と働き方の改善を実現しよう。

いまこそ、労働組合の出番。よりよい職場、よりよい社会、よりよい未来をつくるため、私たちの底力を発揮しよう。労働組合があるからこそ、労使対等な交渉ができる。労働組合の存在意義を広くアピールし、労働組合に集う仲間の輪を社会に広げよう。

連合千葉は、ここに2026 春季生活闘争の開始を宣言し、構成組織、地域協議会と一丸となって最後の最後まで闘い抜く。

こたろう! 暮らしの向上 ひろげよう! 仲間の輪

2026年2月28日
連合千葉 2026 春季生活闘争総決起集会

『教育フォーラムちば2026』を開催

開催日時 2026年2月14日（土）
13時20分～16時45分

開催場所 千葉県教育会館 大ホール
（WEB併用）

主 催 連合千葉、千葉県教職員組合、
千葉市教職員組合



後 援 千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、千葉県経営者協会、千葉県退職者連合、千葉県労働者福祉協議会、連合千葉議員団会議、千葉県小学校長会、千葉県中学校長会、千葉市小中学校長会、千葉県公立学校教頭会、千葉県PTA連絡協議会、千葉市PTA連絡協議会、千葉大学教育学部

参加人数 440名（参集252名・WEB188名）

テ ー マ 子どもたちの健やかな成長のために ～「不登校」から見てくる、これからの教育～

【開会行事】

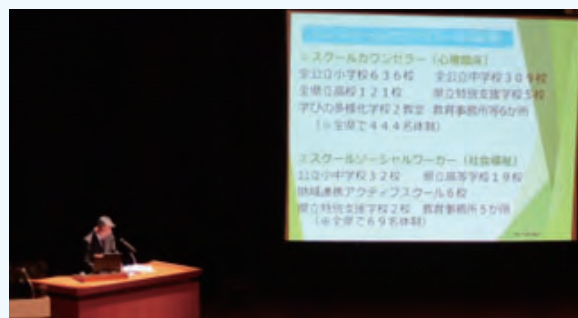
千葉県教職員組合の鶴島委員長の開会挨拶、連合千葉の永富会長から主催者代表挨拶を行った後、御来賓を代表して、千葉県教育振興部の吉本部長、連合千葉議員団会議の関根副会長からご挨拶を頂戴しました。

その後、矢部実行委員長より今回の教育フォーラムについて趣旨説明を行いました。

【講演①】

千葉県教育委員会教育庁教育振興部児童生徒安全課の志村課長より、「千葉県の不登校の現状と課題」というテーマで、不登校に対する千葉県の現状と取り組みについてご講演いただきました。

オンライン配信授業「エデュオプ千葉」やフリースクールとの連携など、様々な取り組みについてお話しいただきました。



志村 課長

【講演②】

NPO法人多様な学びプロジェクト代表理事の生駒氏から「つながる・支える～不登校の子どもたちの育ちと学びをともに考える～」というテーマでご講演いただきました。

すべての子どもが自分らしく育ち、安心と幸せを感じられる社会を目指し、「多様な学び」をみんなの当り前にするにはどうすればいいか等、全国調査の結果を基にお話しいただきました。



生 駒 氏

【シンポジウム】

NPO法人多様な学びプロジェクト代表理事の生駒氏をコーディネーターとして、志村氏（千葉県教育委員会）、前北氏（千葉フリースクール等ネットワーク代表）、増田氏（フリースクール流山会員）、武安氏（保護者）、石野氏（中学校教諭）の5名をシンポジストとしてお迎えして、シンポジウムを行いました。

「不登校が生まれない学校とは」「学校・家庭・地域の連携のあり方」について、経験談や「あの時はこうしたらよかった」「こうしてほしかった」など、それぞれのお立場からお話をお伺いすることができ、大変貴重な機会となりました。



【閉会】

最後に、千葉市教職員組合の小幡執行委員長の挨拶をもって閉会となりました。お休みにも関わらず、会場に足をお運びいただきました皆様、WEBでご視聴くださいました皆様に心より感謝申し上げます。

連合千葉第29回国際女性デーの取り組みを実施

連合では、3.8 国際女性デーに関する行動を春季生活闘争の一環として位置づけ、全国統一行動を展開し、女性の地位向上や男女間の賃金格差の是正、ジェンダー平等・多様性の推進に取り組んでおり、連合千葉は、3月3日にJR千葉駅前にて「第29回連合千葉国際女性デー」の取り組みを実施しました。

アピール行動では、女性委員会をはじめ、女性組合員と女性議員あわせて39人が参集し、すべての人が性別にかかわらず人権を保障され、平等で安心して働くことのできる社会の実現をめざし、広く社会に訴えました。

また、女性の尊厳と人権の確保を象徴する「バラ」1,000本を、女性組合員・女性議員の皆さんから配布し、連合千葉女性委員会によるリレートークで、国際女性デーのアピールを行いました。

第29回 連合千葉 国際女性デー

